

お知らせ

記者発表資料  
配布日時

平成21年8月13日  
17:00(第16報)

同時発表先：広島合同庁舎記者クラブ  
広島県政記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ  
山口県政記者会  
山口県政滝町クラブ  
山口県政記者クラブ

## 「平成21年7月中国・九州北部豪雨」における 国土交通省の対応状況（8月13日現在）について

『平成21年7月中国・九州北部豪雨』における山口県内の災害に対し、山口県及び防府市からの要請を受け、被災直後より被災状況調査等の技術支援を実施してきました。

現在、自治体の災害復旧に向けた取り組みが円滑に進捗できるように、査定資料や橋梁関係技術指導などの技術支援を実施しているところです。

防府市所管施設の災害復旧を行うための査定資料の作成作業が終了し、8月12日（水）に防府市長に資料の引き渡しを行いました。

引き続き、山口県に対し災害復旧事業等の技術支援を実施しています。

※詳細は別紙のとおりです。

※中国地方整備局ホームページにおいて、河川の災害状況、  
道路の規制情報等の「防災情報」を発信しています。

<http://www.cgr.mlit.go.jp>

<問い合わせ先> 中国地方整備局 082-221-9231 (代表)

【災害復旧支援について】

・企画部 防災対策官 かたやま 方山 082-511-6098 (直通)

【広報担当窓口】

環境調整官 しおかた 塩形

# 「平成21年7月中国・九州北部豪雨」災害における国土交通省の対応状況について

## □国土交通省による緊急支援

### ◇リエゾンの派遣【7月21日～24日】

◆災害情報の収集並びに災害支援に関する連絡調整を目的として、山口県土木建築部へ職員2名を派遣。

### ◇災害緊急調査の実施【7月22日】

◆被災状況を把握するため、緊急調査を実施。  
(本省河川局防災課 2名、中国地整山口河川国道 2名)

### ◇緊急技術支援の実施【7月24日～8月7日】

◆山口県及び防府市の要請を受け、被災状況調査等の技術支援を目的として、中国地整40名、中部地整から2名、近畿地整から7名、四国地整から6名、九州地整から2名のTEC-FORCE隊員等を派遣。

○河川、道路の被災箇所：107箇所

○土砂災害危険箇所等の緊急点検箇所：105箇所

※TEC-FORCE隊員等調査分のみ

◆砂防支援班が7月28日に「土砂災害危険箇所等の緊急点検結果」を公表したことに伴い中部、近畿、四国の派遣隊員等15名は29日、九州の派遣隊員等は8月7日で任務完了。

◆延べ379名の隊員等により支援を実施。(8/7現在)

### ◇国総研及び土研から土砂災害の専門家を派遣【7月22日～23日、24日～31日】

◆被災状況の調査及び応急復旧のための技術指導、並びに土石流検知センサーの設置等、安全対策のための技術指導の実施。  
(国総研 3名、土研 5名)

### ◇災害復旧調査【8月3日～4日】

◆早期本復旧に向けた復旧方針等の技術的支援並びに助言を実施。  
(本省河川局防災課 4名、中国地整 3名)

### ◇復旧技術支援の実施【8月1日～】

◆災害復旧事業等の技術支援を目的として、22名(延べ264名)の隊員等により支援を実施。(8/12現在)

◆防府市所管施設の災害復旧を行うための査定資料の作成作業が終了し、8月12日に防府市長へ資料を引き渡し。引き続き、山口県に対し災害復旧事業等の技術支援を継続中。

## □応急組立橋梁を活用した、一般国道262号上勝坂橋の仮復旧

◆山口県の要請を受け、TEC-FORCE隊員等を派遣し、7月25日から被災状況を調査。  
◆7月28日、被災した上勝坂橋について、中国地方整備局保有の応急組立橋梁を活用した仮復旧方針を策定。8月17日より山口県が応急組立橋梁を現地に輸送。併せて、中国地整中国技術事務所より現地施工を支援する橋梁の専門職員を派遣。

## □直轄砂防災害関連緊急事業』の実施

◇山口県知事の要請を受け、新たに直轄砂防災害関連緊急事業に着手。  
【総事業費約17億円】

◆剣川(一級河川佐波川水系 剣川) 砂防えん堤:1基 【事業箇所:防府市大字下右田字勝坂】	【7月31日決定】
◆神里川(一級河川佐波川水系剣川支溪神里川) 砂防えん堤:1基 【事業箇所:防府市大字高井字神里】	
◆上田南川(一級河川佐波川水系 真尾川支溪 上田南川) 砂防えん堤:1基 【事業箇所:防府市大字真尾字上田】	【8月7日決定】
◆奈美川(一級河川佐波川水系 奈美川)【8月7日決定】 砂防えん堤:1基 【事業箇所:防府市大字奈美】	
◆素川(一級河川佐波川水系 素川) 砂防えん堤:1基 【事業箇所:防府市大字大崎】 1基	

## □高速道路の無料化

◇山口県及びNEXCO西日本と調整し、高速道路の無料化を迅速に実施。  
【7月26日～】

◆通常:262号で約30分の所が、被災直後、2・9号経由は、約85分(3倍)の時間を要していたが、その後、高速利用経由で、約35分となり、262号経由と同程度の所要時間となった。

◆高速無料化後(防府西IC-山口IC)、山陽道の交通量は、約18千台増加。

◆これにより、2・9号の渋滞も緩和された(85分→72分)。

## □災害対策用ヘリコプターによる現地調査【7月21日～】

◆国土交通省保有災害対策用ヘリコプターによる調査を、7月21日(はるかぜ号)、7月22日、23日、25日(愛らんど号)に実施。

## □災害対策用機械の派遣【7月21日～】

◆夜間の災害復旧作業を支援するため、照明車2台を待機。

◆地域住民の避難等に資するため、衛星通信車(1台)、Ku-Sat(小型衛星画像電送装置:2台)など、リアルタイム映像提供器機を派遣。

# 山口県支援状況

## 8月12日(水) 17:00現在

「平成21年7月中国・九州北部豪雨」により被災した山口県及び防府市管理の道路・河川について、早期の災害復旧に向け、査定資料や橋梁関係技術指導などの技術的な支援を実施しています。  
 また、8月17日より勝坂地先(下右田地区)に輸送される応急組立橋梁の現地施工の支援を実施します。



松浦防府市長に防府市所管施設の災害復旧を行うための査定資料引渡し



復旧箇所詳細調査(中山地区)



復旧箇所詳細調査(台道地区)



復旧方針についての打合せ(防府市役所)

